

J R 東海 労申第 3 号
2 0 2 2 年 6 月 2 8 日

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 金子 慎 殿

J R 東海 労働組合
中央執行委員長 木下 和樹

新幹線ネット予約システムにおける身体障害者割引の適用に関する申し入れ

5月23日、会社のホームページに、N700S車両「車いすスペース」WEB予約の試行について、と題する内容が掲出された。「車いすスペース」WEB予約が試行ではあるが、お身体の不自由な利用者にとってほんの少しの前進と考える。

しかし、依然、会社はホームページで、身体障害者割引の利用について「係員が身体障害者手帳等の本通を拝見し、本人確認を厳正に確認させていただく」「『エクスプレス予約』では本人確認ができない」などを理由に、身体障害者割引をご利用される場合には、駅の窓口で購入することとしている。お身体の不自由な利用者が乗車日より前に駅に出向いて乗車券等を購入することが大きな負担となっている。会社は、営業施策の強化として「東海道新幹線のネット予約を多くのお客様にご利用いただけるよう取り組みを実施している」このことから、ネット予約で障害者割引が適用されないことは、営業施策に逆行していると言わざるを得ない。

従って、下記の通り申し入れるので、団体交渉を開催すること。

記

1. 東海道・山陽新幹線のネット予約サービス「エクスプレス予約」及び「スマートEX」で身体障害者割引が適用できるようシステムを改修すること。
2. 試行期間をいつまで実施するのか明らかにすること。また、「車いすスペース」WEB予約の試行を実施しての苦情や要望などの反響を明らかにすること。
3. J R 他社や航空会社によるネット予約サービスで身体障害者割引が適用の状況を明らかにすること。
4. 会社が営業施策の強化として打ち出した「東海道新幹線のネット予約を多くのお客様にご利用いただけるよう取り組む」としていることについて、お体の不自由な利用者を考慮しているのか明らかにすること。

以 上